

あひま サカタ

2014



vol.134

3



はいっポーズ!

《北見地区・豊地》

福井絵理子さんと雄大くん

(紹介は2ページです)

特集

●新たな一歩を踏み出す
外郭三組織 第10回通常総代会終える



季節の薫り



富里ダムで
ワカサギ釣り

富里ダムではワカサギ釣りが1月11日に解禁された。撮影当日（2月15日）も釣り人達は専用のテントを設営し、凍結した湖面に穴をあけ、釣り糸を垂らす。

今年は暖冬の影響もあり、6日遅れの解禁となったが、テントの中からは「釣れたよ!」と楽しい雰囲気の話がもれている。

のんびりと雪景色のなか、一日中釣り糸を垂らすのもワカサギ釣りの醍醐味である。

ワカサギ釣りで賑わう富里ダムも農作物の生産、増大を図り農業経営の安定を目的として、建設された農業用ダムであり、貯水された水は地域のかんがい用水として活用されている。（中川 裕二）



富里ダムは昭和53年に建設工事着手し、昭和62年より供用開始、総貯水量2,800,000m³。常呂川水系の仁頃川を水源にし、農耕期には北見地区内のかんがい用水として活用されています。

もくじ CONTENTS

特集① 新たな一歩を踏み出す 外郭三組織 第10回通常総代会終える	4
○季節の薫り	2
○表紙紹介 「大きくのびのびと!」	2
○JAきたみらい ホットライン東西南北	6
○ほのぼのの広場 ・きたみらいのホープさん ・なかよし夫婦 ・わが家のアイドル ・フリティーウーマン ・大きくなったら ・元気な先輩 ・思い出の写真 ・まちがいさがし ・読者の声	10
○青年女性ネットワーク	14
○JAからのお知らせ	16
○おひさまサラダクッキング 「ひじきと切り干し大根のサラダ」 「お楽しみトースト2種」	20

表紙紹介

大きくのびのびと!

オホーツクブルーの空と春の訪れを感じる2月24日、約束の時間に福井さん宅に着くと、お母さんの絵理子さんに抱っこされた雄大さんと家族の皆さんが迎えてくれました。

1歳を迎え、立ち歩きも上手になった雄大くんは、毎日元気に家の中を歩き回りながら、可愛らしい笑顔をみんなに見せてくれます。取材中も私たちのところへ来てあぐらをかいて座り、「ほくほく」や「カメラをじっと見つめていました。」おじいちゃんとおばあちゃんは「雄大がいと、家中が明るくなります」と嬉しそうに話してくれました。

そんな雄大くんのお気に入りの場所は台所。「お玉」や「しゃもじ」を手にとって遊んだり、収納の扉を開けて中を覗いたりします。食べ物の好き嫌いもなく、何でも喜んで食べます。

外に出るのがちよっぴり苦手な雄大くん。初めは少し緊張した面持ちでしたが、お父さんとお母さんの協力のおかげで、再び笑顔を見せてくれました。そんな雄大くんにお父さんとお母さんは、「大きくのびのびと育って欲しい」と、想いを話してくれました。

(横田 佳織)



【ご家族紹介】
前列左から～おじいちゃんの範雄さん(66)、おばあちゃんの幸子さん(62)と雄大くん(1歳2ヶ月)
後列左から～お父さんの慎一さん(36)、お母さんの絵理子さん(38)
福井さんは小麦、玉葱、馬鈴薯、てん菜など約31%を作付けています。

特集

平成26年度

新たな一歩を踏み出す

JAきたみらい青年部・女性部・フレミズ第10回通常総代会終える

平成15年度の連絡協議会を経て、第10回目の総代会を迎えた三組織。本年は、設立10周年の記念式典と記念誌発行などの事業を計画しています。JA全体のエリア構想化が進み、併せて組織検討会でも、それぞれの組織で課題や今後の進むべき道を模索し協議を進めている中、支部活動だけに止まらず、本部活動にも積極的に取り組み、年々支部会員間の交流が広く図られています。三組織の形も少しずつ変わりつつある現在、「部員・会員同士のより強い結束が必要」と、前向きに踏み出した三組織を紹介します。

(小野寺 夢)

青年部

10年、20年後の道筋に

JAきたみらい青年部は2月22日、センター事務所第10回通常総代会を開き、代議員57人が出席しました。開会挨拶で荒喜文部長は「消費者に安心・安全な農作物を届け、農業の大切さを伝えるためにも青年部活動は大切」と述べ、「10年後、20年後の青年部活動の道筋を考える総代会にしたい」と活発な意見を求めました。来賓の大坪広則常務は「みなさんのような若い世代に、もっとJA運営に関わってもらいたい」と青年部のJA運営参画を促しました。全ての議案が終了した後は、外郭組織合同視察研修とヨーロッパ農業視察研修の参加者より内容を報告。

女性部

皆で支え合い、協力し合う

JAきたみらい女性部は2月19日、センター事務所第10回通常総代会を開き、代議員49人が出席しました。開会挨拶で齊藤のり子部長は「皆さんの声を反映させ、楽しく充実した活動ができました」と盛会に終えた平成25年度事業に対し部員へ感謝の言葉を述べ、「皆で支え合い、協力し合うことが女性部の真骨頂。楽しい会話をし、笑って活動を終え、『女性部について良かった』と思ってもらえると嬉しい」と引き続き女性部事業への協力を求めました。来賓の坂下一夫専務は「これからも1人でも多くの女性が女性部活動に参加し、友人を作り輝き続けて欲しい」とお祝いの言葉を送りました。

フレミズ

日々の息抜き、仲間作りの場として

JAきたみらいフレミズは2月20日、端野地区事務所第10回通常総代会を開き、代議員47人が出席しました。開会挨拶で穴田優子会長は「日々の息抜き、仲間作りの場として、フレシユミズという組織が変わらずにあり続けることが大切」と進むべき方向性を述べました。来賓の大坪広則常務は「家庭環境はそれぞれ違うが、家族の理解も得ながら、JAとしてみなさんが活動しやすい環境整備をしたい」と挨拶。齊藤女性部長からは「会員同士笑って話し合えて、温根湯から端野まで友達を作れる状況をなくしてはいけません。フレミズに入り、一人でも多



総代会開催の祝辞を述べる
坂下専務(上)と
大坪常務(下)



▲就任挨拶を行う米森部長、小山副部長、須河副部長(左から)

- 新旧役員体制
- 部長(新) 米森 弘 (北見)
 - 副部長(新) 小山 勇樹 (置戸)
 - 副部長(新) 須河 岐文 (訓子府)
 - 部長(再) 齊藤のり子 (置戸)
 - 副部長(再) 齊藤 晴美 (訓子府)
 - 副部長(再) 黒須 倫子 (北見)
 - ※オホーツクJA女性協役員兼務
 - 温根湯支部長 山梨 則子
 - 留辺蘂支部長 橋 佳子
 - 相 内支部長 森谷 美佐江
 - 置戸支部長 有馬 郁子
 - 訓子府支部長 林 比呂子
 - 上常呂支部長 合田 明子
 - 北 見支部長 和田 祥子
 - 端野支部長 山腰 育子
 - ※理事5名と監事2名は支部長から後日互選



▲就任挨拶を行う齊藤部長、黒須副部長、齋藤副部長(左から)

- 新旧役員体制
- 部長(再) 齊藤のり子 (置戸)
 - 副部長(新) 齊藤 晴美 (訓子府)
 - 副部長(再) 黒須 倫子 (北見)
 - ※オホーツクJA女性協役員兼務
 - 温根湯支部長 山梨 則子
 - 留辺蘂支部長 橋 佳子
 - 相 内支部長 森谷 美佐江
 - 置戸支部長 有馬 郁子
 - 訓子府支部長 林 比呂子
 - 上常呂支部長 合田 明子
 - 北 見支部長 和田 祥子
 - 端野支部長 山腰 育子
 - ※理事6名と監事2名は支部長から後日互選



▲就任挨拶を行う坂下会長、渡邊副会長、米森副会長(左から)

- 新旧役員体制
- 会長(新) 坂下あゆみ (留辺蘂)
 - 副会長(新) 渡邊 美和 (置戸)
 - 副会長(新) 米森こず恵 (北見)
 - 温根湯支部長 児玉 香織
 - 留辺蘂支部長 庄司 明美
 - 相 内支部長 小野 剛美
 - 置戸支部長 森脇 由記
 - 訓子府支部長 佐藤 亜弓
 - 上常呂支部長 大丸 美喜子
 - 北 見支部長 西島 由華
 - 端野支部長 丸本 有香
 - ※理事6名と監事2名は支部長から後日互選

新旧役員体制では、旧役員を代表し荒部長から、執行部や部員、関係機関、女性部員・フレミズ会員など家族の協力への感謝を述べ、「JAきたみらい青年部の団結力があれば、どんな困難も乗り越えられる」とエールを送りました。部長に選任された米森弘さんは「初めて本部活動として支部合同の視察研修を実施するが、みなさんの参加なくしては成り立たない」と事業への協力を求め、「荒前部長から受け継いだバトンを、次の部長にスムーズに引き継げるよう頑張っていきたい」と就任の挨拶を述べました。

全ての議案が終了した後は、外郭組織合同視察研修と部員交流旅行の参加者より、楽しく有意義だった研修内容の報告がありました。新旧役員挨拶では、旧役員を代表し川岸啓子副部長が「JA10周年事業もあり、慌ただしく過ぎてしまいましたが、仲間が増えとても楽しい1年になりました」と振り返りました。外郭組織10周年記念事業や介護事業の取り組み検討など、平成25年度から継続している内容も多いため、本部役員への強い要望により3期目を務めることとなった齊藤部長は「本部役員さんと、楽しく活発な意見が出し合える関係を作りたい」と続投の抱負を述べました。

くの女性に楽しい農家生活を送って欲しい」とメッセージが届きました。全ての議案が終了した後、外郭組織合同視察研修ときたみらい馬鈴薯振興会道外販売推進の参加者より研修内容の報告がありました。新旧役員挨拶では、旧役員を代表し穴田会長から「初めは不安だったが、会員みなさんの積極的な参加と楽しんでる姿、笑顔が何よりも支えになった」と感謝を述べ、退任挨拶。会長に選任された坂下あゆみさんは「両副会長、役員と協力し合い、活動をもっと盛り上げていきたい」と明るく就任の挨拶を述べました。

温根湯

作物別
冬期講習会を開催

～玉葱・畑作
2部構成で開催～



▲草野専門普及員の説明を聞く生産者のみなさん

温根湯地区では2月12日、作物別の冬期講習会が行われ、生産者約25人が参加しました。網走農業改良普及センター直井専門普及員と草野専門普及員、北海道糖業の國見職員を講師に迎え、午前中に玉葱、午後から畑作物の講習が行われました。昨年の優良事例の紹介や、気象状況を振り返りながら、今年の施肥改善や排水対策、かん水のタイミングなどの説明がされました。

また、昨年の病害虫発生状況と今後の対策について、参加した生産者のみなさんは講師の説明を熱心に聞き取り、メモをとりながら真剣な表情で講習会に臨んでいました。講習会終了後には、質疑応答も行われ、これから本格化する本年度の営農に向けて、大変有意義な講習会となりました。

(中川 裕二)

相内

会員加入を
呼びかける

～年金友の会・総会と
2泊3日の温泉保養～



▲開会挨拶をする高橋会長と役員のみなさん

JAきたみらい相内年金友の会（高橋正則会長）は2月13日、温根湯のホテルで2泊3日の温泉保養を兼ねた第26回通常総会を行い、会員50人が出席しました。

開会挨拶で高橋会長は「年々会員が減少しています。多くの人と親睦を深め、健康で実りある明るい生活ができるよう、会員みなで加入を推進しましょう」と参加者に呼び掛けました。

総会では収支決算報告や新事業として「ふれあい旅行」と愛称を付した、道内旅行などの企画が盛り込まれた26年度の事業計画など5つの議案を提案、出席者全員の承認を得て可決決定しました。

総会終了後は、温泉で体の疲れを取り、懇親会では、地区運営委員長も加わり、参加者全員で親睦を深め、楽しい3日間を過ごしました。

(辻本 均)



▲2種類小豆で作った『あん』を試食する部員のみなさん

きたみらい豆類振興会上常呂連絡協議会(角田大造代表)は2月17日、上常呂地区事務所で開催講習会を開き会員12人が受講しました。

網走農業改良普及センターの荒木普及員、川岸普及員を講師に招き、試験や調査結果から、収量増加に向けた栽培密度や品種ごとの病気抵抗性などの特性、収穫適期など幅広く説明を受けました。荒木普及員は「きたみらい地域は道内の他産地と比べ、良質小豆を生産する優位性があります」と話し、「日照時間の多い北見地方では抗酸化活性の高い小豆生産が可能となります」と説明しました。

また、加工適正を比較するため、「エリモ」と「きたるまんの『あん』」を試食し、味や舌触りの違いを確認しました。参加者からは追肥による効果などの質問が出され、増収にかける意気込みが感じられる有意義な講習となりました。

(荒畑 正紀)

置戸 事故防止
努めます

～事故防止講習会に
組合員28人が参加～



▲熱心に話を聴く参加者のみなさん

置戸地区事務所では2月20日、「農作業・交通事故防止講習会」を行い、組合員28人が参加しました。

講習会では、講師に北見警察署置戸駐在所の阿部悦夫所長を招き、使い慣れた農機具でも危険がたくさんあること、シートベルトの必要性など、事例を交えて講話が行われました。

講習会の最後に阿部所長は「近年では、住宅や倉庫等の施設周辺の事故が多発しています」と近況の事故について話し、「家族を巻き込まないためにも、しつこいくらいに安全確認は大事です!」と参加者全員に強く呼び掛けました。

その後、組合員を代表して青年部置戸支部の中川隆支部長が「安全運転に徹し、事故防止に努めます」と交通安全決意宣言を行い、講習会を終えました。

(酒井 沙織)

端野

春作業に向け
真剣な眼差し

～技術講習会に
102人が参加～



▲春作業に向けて熱心に聞く参加者のみなさん

端野地区事務所は2月24日
ふれあい・組織振興グルー
プが連携して品目別の栽培技
術講習会を行い、延べ102
人が参加しました。
講習会は朝から1日を通し
て行われ、午前中は春小麦・
大麦・秋小麦について、午後
からはてん菜・馬鈴薯・豆類
もち米の慣行・特別栽培につ
いて説明が行われました。
講師は麦類・馬鈴薯・豆類
では網走農業改良普及センタ
ーの酒井係長・菅野専門普及
員、もち米では李家主査、て
ん菜では北海道糖業㈱の柏木
氏を招きました。講習では25
年産の作付状況、播種時期の
違いによる収量の比較や病害
対策、栽培管理におけるポイ
ントなど幅広く説明が行われ
ました。
参加した生産者は、農作業
準備に追われるなかですが、
春作業に向けて真剣な眼差し
で聞き入っていました。
(虻川 卓也)

北見

追肥効果あり
増収に期待

～馬鈴薯青年部
総会に13人が参加～



▲試験結果を説明する部員の話を受取る参加者のみなさん

北見市馬鈴薯青年部(齊藤
宏幸部長)は2月18日、セン
ター事務所第11回通常総会
と試験発表会を開き、部員13
人が参加しました。
総会の前段に行われた試験
発表会では、25年度に実施し
た馬鈴薯の「粒状硝酸カルシ
ウム試験」の結果について部
員より報告。試験は硝酸カル
シウムを追肥資材に用いた場
合の増収効果を調査する目的
で、前年度に引き続き実施を
しています。発表を行った鉄
地河原部員は「硝酸カルシウ
ムを追肥した全ての圃場で慣
行区よりも収量が高く、追肥
の効果が十分表れました」と
説明。参加した部員は資料を
確認しながら興味深く耳を傾
けていました。
続いて行われた総会では、
全ての議案が承認された他、
今年度の試験の内容について
も活発に意見が出されました。
(横田 佳織)

留辺蘂

玉葱の
播種開始

～天候に負けない
営農を目指して～



▲完成したポットを積み上げる加藤さん

留辺蘂地区大富の加藤昭義
さんは2月24日、玉葱の播種
作業を開始しました。
この日は、早生玉葱のオホ
ーツク222を中心に、1時
間で約8反分の育苗ポット5
50枚に播種を行いました。
播種された育苗ポットは翌日
ハウスへ伏せ込み作業が行わ
れます。
厳しい寒さの中、自宅倉庫
でヒーターを焚きながら、家
族総出で黙々と作業に励んで
いました。
今年、約10畝の玉葱の作付
けを予定している昭義さんは
「今年は、かん水施設も確立
するので、天候に負けない農
業を実践していきたい」また
「目標は昨年を越える収量確
保をめざし、営農に励みたい」
と今年の意気込みを力強く話
されました。
この玉葱播種作業は早生品
種から中晩生品種と3月上旬
まで行われる予定です。
(中野 孝祐)

訓子府

先人(おやじ)に
敬意を表して

～世代ごとに
分科会開催～



▲講師(中央)を交えて話し合う「息子世代」のみなさん

訓子府町は2月24日、町公
民館で新・農力発見セミナー
を開催。「十勝おやじの背中を
超える会」(通称「おやせな」)
会長の梶宗徳さんが講演を行
い、生産者ら約40人が参加し
ました。
「おやせな」は、先人たちが
築いた礎を受け継いで自分た
ちの農業を形づくることを目
的として組織された十勝全域
の若手農業者グループ。講師
の梶さんは帯広市の農業生産
法人㈱K・s FARMの代
表です。
講演では「おやせな」や法
人の活動を紹介。その後は世
代ごとに分れ、講師を交えて
感想などを話し合う分科会が
行われました。
参加者からは、「夫婦で同じ
理想を持って挑戦している姿
が素晴らしい」「奥さんを輝
かせる旦那さんが素敵」など
の感想が聞かれました。
(山内 庸平)

わが家のアイドル



訓子府地区・柏丘

ゆな
佐藤 優那ちゃん(4ヶ月)

好き好き大好き「いない、いない、ばー」

周りの人にいつでもとびっきりの笑顔振りまいてくれる優那ちゃん。話しかけたり、一緒に遊んであげたりすると、最高の笑顔が見られます。そんな優那ちゃんのお気に入り、「いない、いない、ばー」。特に、おばあちゃんが繰り出す「いない、いない、ばー」がお気に入り、しゃっくりが出るほど笑ってしまうとか。

笑い上戸の優那ちゃんですが、実は、ちょっぴり寂しがり屋さん。部屋に誰もいないことに気付くと涙があふれてきて止まらなくなってしまう。

ご家族にたっぷりの愛をもらって、笑顔をお返りする優那ちゃん。最近は寝返りをうてるようになり、よいしょ、よいしょと頑張っってひっくり返る姿に、ご両親は確かな成長を感じるとともに、「元気で思いやりをもった優しい子に育ってほしい」と話してくれました。

訓子府地区・柏丘の佐藤雄一さん、麻美さん夫妻のお子さんです。
(山内 庸平)



より安定した経営を!

北見地区・美里

荻野 清彦さん(41歳)

きたみらいの ホープさん

●趣味は?

車全般です。

●休日の過ごし方は?

息子や娘と遊んだり、家族で出かけたりしています。これからは子どもたちと一緒にスキーに行きたいですね。

●好きな食べ物・嫌いな食べものは?

食べ物の好き嫌いは無く、何でも食べますが、中でも焼き肉などの肉料理が好きです。

●理想の女性は?

うちの嫁さんです!

●農業で学び実感したことは?

社員の時とは違い、すべてのことを覚えなければならないので大変です。

特に経理関係が苦手です。

●今後の抱負は?

もう少し規模を拡大して、より安定した経営を目指します。

清彦さんは酪農専業で、Uターン就農して3年目になります。

(横田 佳織)

Pretty Woman ウーマン

◆出身は?

留辺薬町出身です。実家が農家だったこともあり、高校を卒業してから2年間JA(当時の留辺薬農協)の窓口に勤めて、その後農業を始めました。

◆ご自身の性格は?

明るくアクティブな性格なので、女性部で実施している旅行には仲間と誘い合って、よく参加しています。やってみたくてなかなかあるのですが、始めるまでがなかなか・・・腰が重くて(笑)。始めたらハマるタイプなんです・・・

◆最近の楽しみは?

4歳と2歳の孫の成長です。日に日に遊びや言葉が大人びてきたりと、近くで成長を見られるのがとっても楽しいです!あとは毎年3月に平成20年度の本部役員で置戸ゆうゆのコーテジに集まっていること。料理は持ち寄って、お酒も飲みながらにぎやかに過ごします。夜もぎゅうぎゅうに布団を引いて、修学旅行状態です!今年もそろそろ開催が近づいてきたので、今から楽しみにしています。今までの私を振り返ってみて、今が一番充実していて楽しい気がします。

◆今後の活動に対する抱負は?

とにかく部員皆さんと楽しく1年間を過ごしたいです。今までも支部の皆さんとは助け合って協力合ってきたので、変わらずに仲良く過ごしたいです!(^▽^)/



今が一番楽しい!

留辺薬地区・大富

橘 佳子さん(58歳)

今回は女性部留辺薬支部・支部長の橘さんに登場いただきました。
(小野寺 夢)

Q結婚のきっかけは?ご結婚はいつでしたか?

高校からの付き合いで、昭和63年9月に20歳で結婚しました。

昨年秋に銀婚式を迎え今年で結婚26年目に入ります。

Q趣味・娯楽は?

利男さん……日曜大工(小屋作り)と遊技場めぐりです。

聡美さん……映画鑑賞で娘と行くのが楽しみ!

Qこれからのことは?

子供も大きくなり、家族5人で父母旅行に行きたいですね!

また、将来は家の造築を考えています。

Qお互いの感謝の言葉

利男さん……結婚当時から妻には、苦勞をかけてきたので、仲良く明るい家庭を守るためがんばります。

聡美さん……夫には感謝の気持ちでいっぱいです。これからは、体に気をつけ早く海外旅行に連れて行ってほしいです。

(辻本 均)



ながよし夫婦

早く旅行に連れてって

相内地区・東相内

畑 中 利 男さん(46歳)
とし さと 聡 美さん(45歳)

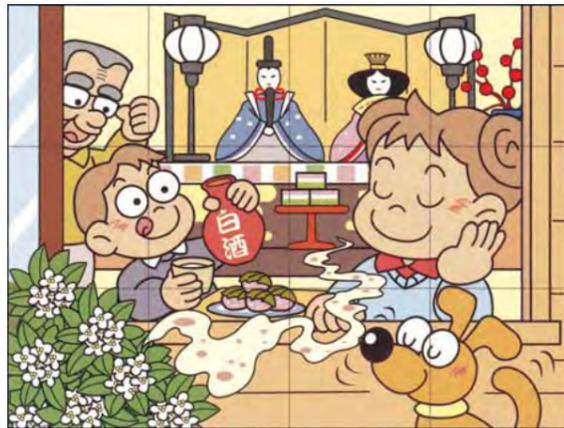
まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



2月号クイズの当選者

2月号のまちがいさがしの答えは「2、3、5、9、12」でした。正解者 71名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの坂下専務にお願いしました。

()内は地区名

- ・高橋かよ子さん(温根湯)・斉藤美恵子さん(相内)
 - ・篠内千恵子さん(置戸)・山本航平さん(訓子府)
 - ・上杉としえさん(訓子府)・藤森寧々さん(訓子府)
 - ・笠野智恵子さん(訓子府)・庄司樹さん(北見)
 - ・吉田莉音さん(上常呂)・大嶺むつ子さん(端野)
- 以上の方々には、北見のパティスリー・ノブヤの「陽だまりチーズ」をプレゼントします。



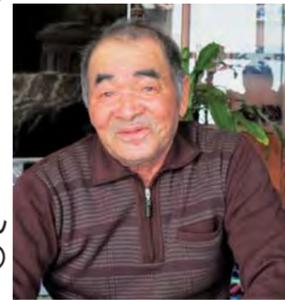
応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、志賀甘栄堂(端野)の「のんたのほっぺ」をプレゼントします。

元気な先輩

上常呂地区・広郷

白滝 仲治さん
(76歳)



思い立ったらすぐ行動

仲治さんは、昭和13年に天塩郡天塩町で生まれ、中学校を卒業後は実家の農家を手伝っていましたが、20歳の時に、弟と現在の地で営農する白滝勢一さんのところで働き始めました。昭和39年に、奥さんの絹代さんと結婚した同年に経営を継承。当時は玉葱、てん菜、麦など約8割を作付けし、甜菜では何度か高収量で表彰も受けています。

思い立ったらすぐ行動し、じっとしていられない性分で、就農後も営農の側ら大工や鉄工仕事を手掛け、冬は鉄工の部品を作り、春には倉え付け、5月からは圃場管理の側ら、農業用倉庫などを作り年中忙しく働いていました。仲治さんは当時のことを「各農家で農業機械が入り始めた大きな農舎が必要となってきた時代で、ロコミで依頼がどんどん入って来た」と話し「始めてから5年くらいは3時間ほどしか睡眠時間がなかったが、若かったから頑張れたんだ」と話してくれました。

経営移譲した今でも元気に働き、家の隣に100坪ほどのハウスを立て、メロンのほか様々な野菜を作っては近所の人や親戚に贈り喜ばれています。(荒畑 正紀)

ほのぼのの広場

大きくなったら



端野地区・川向

水口 凜愛(りんだ)ちゃん(11歳)
響志郎(きょうしろう)くん(8歳)
鼓士郎(こじろう)くん(5歳)

スノーボードでオリンピックに出たい(凜愛ちゃん)

わたしは大きくなったら、スノーボードの選手になって、オリンピックに出たいです。今スノーボードを習っていて、もっと上手になりたいです。(写真左)

プラモデルの設計をしたい(響志郎くん)

ぼくはプラモデルを作るのが好きなので、プラモデルを設計する人になりたいです。習っている剣道でも全国大会に出て、優勝したいです。(写真右)

スポーツカー選手になりたい(鼓士郎くん)

ぼくは、車が大好きなのでスポーツカー選手になりたいです。車のおもちゃもいっぱい持っています。モーターにも乗りたいです。(写真中央)

水口靖一さん、聖子さん夫妻のお子さんです。(虻川 卓也)

思い出の写真

『僕は農家になる。』期待と憧れに胸を高鳴らせ、新品の耕耘機を前に決意を固めた47年前。少年の夢が綿菓子のように膨れ上がり、ワクワクが止まらない！そんな瞬間をとらえたのがこの写真です。

森脇農場ではてん菜、馬鈴薯、小麦、エン麦を栽培。加えて乳牛を飼養し、8.2%の農地を農耕馬2頭と共に耕していました。そんな時代に導入したのが当時45万円したという耕耘機。その2年後には約40馬力のトラクターを共同で導入、近代農業への扉が一気に開きます。

農家への夢に向かってまい進する森脇さん。訓子府高校農業科(生徒会長)、農業学園に進学し、永遠のライバル仁木義信さん、中沢博之さんらと切磋琢磨を重ね就農に至ります。しかし、良いこともあれば悪いこともある。父の代から導入していた玉葱の価格暴落という厳しい現実。「農業は俺の代まで」と考えるようになっていました。

しかし、「農業をやりたい」という婿の裕次郎さんに、なかなか首を縦に振れなかった森脇さんも、ついに決断。夢のバトンを次代へと継承しました。森脇一家の夢が重なり、浮かび上がってくる。そんな一枚です。(山内 庸平)



▲新品の耕耘機を導入し、家族全員で記念撮影。右端で耕耘機に跨っているのが弘己さんです。

夢のバトンを次代へ

置戸地区・豊住

森脇 弘己さん(59歳)



リアフリーの特集はとても勉強になりました。なかなか気づかない事がたくさんありますよね。

(訓子府地区・境 福子さん)

ご参考になって良かったです。これからご自身が住みやすいお家になるよう、楽しみながら考えてみてくださいね。

まちがいさがしで頭と目の体操をしています。

(匿名希望)

このコーナーがそのようにも使っていただけて嬉しです！『継続は力なり』今後も続けてくださいネ。

チオリンピックでの日本勢の活躍に感動の毎日です。今年もあと少しで玉葱の播種作業が始まります。今年こそ素晴らしい出来秋の金メダルを目指して頑張ります。

(端野地区・木村 陵子さん)

本当に日本選手の活躍には感動しましたね。私たちも活躍できるシーズンにしたいものです。出来秋の金メダルを取れるよう応援しています！

つも楽しみに見えています。顔見知りの方が載っていると嬉しくなりますね。これから農作業も始まります。皆さん気をつけて作業して下さいね。

(置戸地区・嘉藤 常子さん)

いつも愛読していただきありがとうございます。知り合いを見つくと嬉しくなる気持ちわかります！農作業事故には気をつけて、ますます嬉しくなるような秋を迎えたいですね！

女性力で守ろう未来!!

子どもたちの夢のために

第24回オホーツクJA女性部大会・家の光大会 3年に1度の本大会に 295人が参加



▲全国家の光大会を報告する
オホーツク女性協黒須理事

オホーツクJA女性協議会は1月29日、30日の2日間、温根湯温泉の大日本家で「第24回オホーツクJA女性部会・家の光大会」を開きました。本大会は3年に1度、変化する農村社会の課題解決のために、組織の進むべき方向を話し合い、実践目標を定めることを目的として行われました。今回は「女性力で守ろう未来!!子どもたちの夢のために」と題して、オホーツク管内14JAの女性部員や役員、事務局ほか合わせて295人が参加。うち当JA女性部は83人が参加しました。

続いてオホーツク総合振興局の山崎毅匡産業振興部長、JA道中央会北見支所の高橋和則支所長、オホーツクJA青年部協議会の小松友也会長が祝辞を述べました。

その後、同協議会の役員が「全国家の光大会」、「東北・北海道リーダー研修会」、「道女性協海外視察研修」の報告を行い、JAオホーツク網走の矢浪千恵子部長が「組織活動体験」を発表。続いて、当JA女性部の齊藤部長が「家の光記事活用体験発表」を行いました。



▲家の光活用術を発表する
齊藤部長

特別講演として、JA北海道中央会農業振興部の小南裕之部長が「JA女性部組織活動の勘定」と題し、実例を挙げながら、オホーツクJA女性協議会3ヶ年計画申し合わせ事項について、一緒に考えていける内容で講演しました。

初日の最後には、参加者が楽しみにしているアトラクション発表が行われ、当JA女性部からは上常呂支部と端野支部が出場しました。

上常呂支部は、昨年亡くなったアンパンマンの作者やなせたかしさんに敬意を表し、アンパンマンのキャラクターに扮して登場!どのキャラクターもそっくりで、AKB48の曲『恋するフォーチュンクッキー』を更に可愛らしく踊り、たくさんのおひねりやあめ玉が飛び交っていました。

端野支部は、北見市でひよっこ踊りを教えている先生直伝の「ズンドコ節」でのひよっこ踊りを披露



▲会場を大いに沸かせた端野支部(左)と上常呂支部(右)のアトラクション

！見た目のインパクトはもちろん、巧みな腰つきと、コミカルなステップで会場は大爆笑でした。
2日目の研修会では札幌市出身の作家森久美子さんが「外から見たオホーツク農業」女性の力で魅力を発信」と題して講演が行われました。食の動向や6次化への考え方など、事例を交えながら話されました。



▲講演した作家 森久美子さん

最後に各地区の女性部から出品された作品展の表彰が行われ、当JAからは、フラワーハーモニー作品展で相内支部、生活展で訓子府支部の木村裕美さんのハワイアンキルトが優秀賞を受賞しました。

(丸山 恵理)



▲生活展で入賞した訓子府支部木村裕美部員の『ハワイアンキルト』



▲賞状を受け取る相内支部の森谷美佐江支部長(写真右)



▶フラワーハーモニー展で入選した相内支部の『花壇写真展』

フランスの酪農を学ぶ

きたみらい酪農青年部 冬期講習会

きたみらい酪農青年部(粕憲彦部長)は1月29日、訓子府事務所で冬期講習会を開催し、部員30人が参加しました。

今回のテーマは「ヨーロッパの酪農情勢について」と題し、森永酪農振興協会の関口泰司氏・森永酪農販売(株)北海道支店遠軽営業所の村上英未所長を講師に招き、主にフランスの酪農業・流通について学びました。この講習会は平成27年2月に計画しているヨーロッパ酪農業視察研修実施に向けての位置づけもあり、フ

ランスの農場を例に経営内容や飼料、乳牛の品種、農業国際見本市、国を挙げた食育事業などについてプロジエクターで映し出される画像と共に説明を受け、参加した部員は熱心に聞いていました。

説明終了後、参加者からは乳飲料がフランスではペットボトル容器で販売されていることなどについて質問が挙がり、日本とフランスの酪農の違いについて細かい点まで話が及んだ講習会となりました。

(高田 陽介)



▲フランスの酪農について説明する関口泰司氏



▲説明を聴き入る参加者の皆さん



INFORMATION

北海道産業貢献賞＜農業協同組合功労者・農業指導功労者＞

“受賞”おめでとうございます!

北海道では、多年に渡り本道の産業発展に貢献され、その功績が顕著な方を産業部門別に表彰しています。2月6日、札幌市において、平成25年度の北海道産業貢献賞（農業協同組合功労者・農業指導功労者）の表彰式が開催され、JAきたみらい管内から2名の方が、長年の功績を認められ受賞されましたので、ご紹介致します。



「受賞が終わりではない。若い人達と一緒に頑張りたい」

北海道産業貢献賞＜農業指導功労者＞
北見市端野町 北海道指導農業士
小川 吉猶 氏（66歳）

小川さんは、平成9年に指導農業士に認定されて以来、農業大学校生等多数の研修生を受け入れ、指導にあたるほか、北見地区指導農業士・農業士会会長として、管内の指導農業士等の中心的役割を担い、地域の担い手育成に貢献しました。

また、児童等を対象とした収穫加工体験事業を展開し、これまでに延べ640名の参加者を受入れ、農業への理解と関心を高めるとともに、地域との交流を通じて農村を活性化し、地域農業の振興に多大な貢献をしました。

小川さんは「今回の受賞で終わりではなく、これから後輩や若い人達と一緒に何をやっていくか、地域の問題に向かって頑張っていきたいです」と受賞の喜びと、今後に向けた意気込みを話してくれました。



「みんなの榮譽 農業は生涯現役」

北海道産業貢献賞＜農業協同組合功労者＞
訓子府町清住 北海道指導農業士
福田 節幸 氏（65歳）

福田さんは、平成9年に旧訓子府町農協監事に、同19年にはきたみらい農協代表監事に就任し、同25年4月まで16年間監事職を務めました。組合員の経営安定と農協の健全な運営に努め、大規模農協の高度化・複雑化した業務の厳正な監査を通じて内部留保の充実やプロセスチェック型のリスク管理態勢を確立し、財務基盤強化を図りました。

また、昭和62年から平成8年の10年間、メロン振興会会長として、メロンの品質向上を図り、農家所得の向上にも寄与され、ともに平成9年に北海道指導農業士として認定されて以降、担い手の育成・確保に努め、地域農業の振興に多大な貢献をしました。

福田さんは「この賞は個人に与えられたものではなく、指導や激励を頂いた実践会、組合員、職員、関係機関みんなの榮譽。何よりも家族の支えがあったからこそだと思います。生き甲斐である農業は生涯現役でやっていきたい。指導農業士の活動を通して担い手の育成にも邁進していきたいです。」と受賞の喜びと、今後に向けた意気込みを話してくれました。

地産地消と食育推進

芋・玉5.3トンを贈呈

JAきたみらいでは2月3日、当JA役員及びきたみらい玉葱振興会と馬鈴薯振興会の会長など4人が北見市・訓子府町・置戸町を訪れ、学校給食への食材提供としてパンフレットを添えて玉葱と馬鈴薯を贈呈しました。

今年には玉葱160ケース、馬鈴薯208ケース、合計で5.3トンを1市2町にある11の幼稚園、小学校25校、中学校17校の給食用食材として提供しました。

置戸町役場を訪れた玉葱振興会の小野会長は「食」について「地元の父母が作ったものが食卓に並んでいく」ということが大切」と自身の熱い思いを語り、井上置戸町長からは「玉葱がおいしくなった。今までよりも食べるようになった」と話し、「この4月から高校にも学校給食を出すことに、地産地消として農協からの食材提供はありがたい」と感謝の言葉を頂きました。

続いて北見市での贈呈では、櫻田北見市長は「スノーマーチは煮崩れしない、芽が浅いので調理しやすい」と女性から好評です」と話し、「全国にファンを広めたいのはもちろん、地元の子どもたちに味わって欲しい」と学校給食での地産地消に期待しました。



▲写真説明
①(左から) 馬鈴薯振興会の平川会長、玉葱振興会の小野会長、平野教育長、井上置戸町長
②(左から) 櫻田北見市長、小野会長
③(左から) 橋本議長、佐藤副町長、菊池訓子府町長、坂下専務、小野会長、大坪専務、平川会長



▲食材とともに提供したパンフレットでは、植付けから流通までをイラストを使って説明。園児や小学校低学年が理解しやすいよう心がけて編集しています。



INFORMATION

第1回 理事会報告

2月21日、午前9時30分より第1回定例理事会が開催され、報告事項11件、議決事項11件が協議され、原案通り承認されました。

- 【報告事項】
- ①監事監査報告（決算棚卸、自己査定・クミカン精算状況）について
 - ②平成26年度監事監査計画について
 - ③内部監査報告（自己査定・決算処理）について
 - ④平成25年度内部監査業務活動報告について
 - ⑤組合員状況報告について
 - ⑥地区別懇談会の実施報告について
 - ⑦平成25年度資産査定結果について
 - ⑧再建対策ガイドラインに基づく階層区分の設定及び対策農家の選定について
 - ⑨平成25年度産玉ねぎ、馬鈴しょの選果販売状況について
 - ⑩生乳生産状況及び個体取引価格について
 - ⑪加工・業務用野菜生産基盤強化事業について

- 【議決事項】
- ①出資減口及び持分譲渡について
 - ②平成26年度コンプライアンス・プログラムの制定について
 - ③平成26年度1億円を超える信用の供与等の設定について
 - ④水田・畑作経営所得安定対策等支援資金の借入について
 - ⑤定款・規定類の改正について
 - ⑥平成26年度余裕金の運用について
 - ⑦北海道条例検査指摘事項に係る改善状況報告について
 - ⑧目的積立金要領の制定について
 - ⑨外部出資の増口について
 - ⑩平成25年度事業報告及び収支決算状況について（貸借対照表・損益計算書）
 - ⑪平成25年度剰余金処分（案）について

営業時間変更のお知らせ 平成26年4月1日(火)～10月31日(金)

センター・地区事務所				
	営業時間			
	平日	土曜日	日曜日	祝祭日
事務所	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み
金融窓口	9:00～15:00	休み	休み	休み
(ATM)	9:00～18:00	9:00～14:00	休み	休み
共済窓口業務	9:00～15:00	休み	休み	休み
※事務所は第2・第4土曜日休業				
資材店舗				
各店舗	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み
※置戸店舗は第2・第4土曜日休業				
給油所				
各給油所	8:00～19:00	8:00～19:00	8:00～18:00	8:00～18:00
※訓子府・上常呂の給油所は日曜日休日 ※端野給油所は第2日曜日のみ休日				
整備工場				
訓子府	8:40～17:00	8:40～12:00	休み	休み

お詫びと訂正

先月号(133号)のおひさまサラダで、次のとおり誤りがありましたので訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

- ・16ページ 1段8行目 当農協理事の ⇒ 当農協総務専門委員長の
- ・17ページ 地区別懇談会 午後の部 1時30分から ⇒ 13時30分から

の10倍と取引状況に応じた特典のほか、Wチャンスとして当JAの10周年記念事業として、旅行券や当JAの加工食品詰め合わせなど合計316本、総額145万円相当の景品が利用者にも送られました。

特賞には訓子府町の島山繁さん(75歳)が当選、1月30日、同JAセンター事務所にて西川組合長より景品が贈呈されました。島山さんは「今年、古希の祝と重なりとてもうれし、旅行先はこれからの楽しみです」とうれしそうに話してくれました。(荒畑 正紀)



▲西川組合長より景品を渡される島山さん(右)

合併10周年記念に豪華景品

～冬期貯金キャンペーンWチャンス抽選～

JAきたみらい金融共済部は1月17日、合併10周年記念として冬期貯金キャンペーン特典のほかに、Wチャンスとして豪華景品を抽選し当選者へ贈呈しました。

今回のキャンペーンでは店頭金利

地区毎の出席状況

地区名	組合員戸数	出席戸数	出席率
温根湯	75	30	40.0%
留辺蘂	36	22	61.1%
置戸	112	46	41.1%
訓子府	304	75	24.7%
相内	96	30	31.3%
上常呂	121	34	28.1%
北見	208	50	24.0%
端野	207	77	37.2%
計	1,159	364	31.4%



▲52人が出席して開かれた置戸町中央公民館での懇談会

2月10日から2月15日までの5日間、8会場においてJAの冬期地区別懇談会が行われ、組合員と家族の皆さん388人が出席しました。

地区運営委員長の進行により、平成26年度の事業基本方針や部門別経営計画などを説明した後、ご来場のみなさんから数多くの活発な意見と質問を頂きました。

なお、懇談会で出された意見・要望などについては後日「Q&A」にてお知らせ致します。(酒井 沙織)

活発な意見が多数

～冬期地区別懇談会終える～

◎以下の内容でJA助成を行っています。

❖助成交付内容および助成額と助成方法について

助成内容	助成額(上限)	助成方法	備考
①人間ドック 厚生病院(遠軽・網走)	15,000円 ※基本料の半額を助成	検診料から助成額を差引いた額を指定口座より引落し	※JAに連絡が必要(早期予約をお勧めします)
①人間ドック その他病院	5,000円	助成金を指定口座に振り込み	※領収書の提出が必要
②巡回ドック 厚生病院(実施場所は後日案内致します)	7,500円 ※基本料の半額を助成	検診料から助成額を差引いた額を指定口座より引落し	※JAに予約連絡が必要
③脳ドック 単独検査のみ(病院指定なし)	5,000円	助成金を指定口座に振り込み	※領収書の提出が必要
④胃ガン検診(行政の検診のみ)	1,000円	助成金を指定口座に振り込み	※領収書の提出が必要
⑤子宮ガン検診(頸部)(行政の検診のみ)	1,000円	助成金を指定口座に振り込み	※指定病院からJAへ請求がある場合は差額を指定口座より引落し

(注)上記金額を上限とします。ただし、支払額が助成額未満の場合は全額が助成対象となります。

対象者⇒**正組合員とその家族(農業従事者)**で**30歳以上**

◆問い合わせ先
JAきたみらい企画振興グループ ☎24-2145

▼直近1年の受診状況

	北見	温根湯	留辺蘂	置戸	訓子府	相内	上常呂	端野	合計
人間ドック(厚生病院)	47	44	31	3	35	22	15	45	242
巡回ドック(厚生病院)	10	2		2	0	9	43	23	89
※1 その他検診	3		2	131	233	1		8	378
受診者合計	60	46	33	136	268	32	58	76	709
受診率(戸)	14.4%	28.0%	44.4%	61.6%	49.7%	18.8%	23.1%	14.5%	31.3%
前年の受診率	19.6%	34.2%	48.6%	55.3%	29.3%	20.4%	25.6%	16.7%	27.6%

※1 その他検診…行政で行われた検診や厚生病院以外でのドックや検診

☆人間ドックと巡回ドックの違いは？

- 人間ドックの良いところは……
1. 検査内容が多く充実しています(腹部エコー(腫瘍・胆石)・尿酸(痛風)・肺機能 他)
 2. 当日に結果が分かり保健指導が受けられます
 3. X線撮影の大きさが10倍となり、より細かく診断できます
 4. 「夫婦の日」を設け、検診・保健指導など夫婦で受けられる……など

JAでは農業従事者の健康づくりを促進するとともに健康診断の未受診者解消に向け「健康診断の受診率向上」を振興方策に掲げています。

組合員及び家族のみなさんに健康管理の一環として、1年に1回は受診を促すようお勧め致します。

健康診断(検診)を受けましょう!!



【材料：3人前】

- | | |
|----------------|---------------|
| 芽ひじき……………15g | マリネ液 |
| 切り干し大根……………10g | EVオリーブ油…大さじ1 |
| ニンジン……………50g | 蜂蜜……………大さじ1 |
| エノキダケ……………100g | 酢……………大さじ3 |
| ショウガ……………1片 | しょうゆ……………大さじ2 |
| トマト……………小1個 | 塩……………適量 |
| トウガラシ……………1本 | |
| イタリアンパセリ…少々 | |

ひじきと切り干し大根のサラダ

【エネルギー99kcal(1人分)】

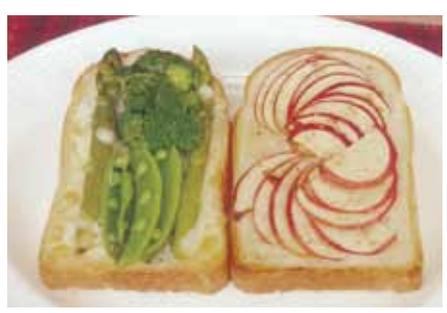
【作り方】

- ①ひじきは水洗いし、ひたひたの水に20分ほど漬けて戻す。切り干し大根はさっと洗い、2~3cmに切り、少量の水で10分ほど戻す。
- ②ニンジンとショウガは千切り、エノキダケは半分の長さ、トマトは小さな角切り、トウガラシは種を除き細輪切りにする。
- ③ボウルにマリネ液を作り、切り干し大根とその戻し汁・トウガラシ・トマト・ショウガをあえる。
- ④沸騰した湯に塩少々(分量外)を加え、エノキダケとニンジンを3~4分ゆで、水気を切る。同じ湯でひじきをさっとゆで、水気を切る。
- ⑤④を③のボウルに入れ混ぜ合わせ、器に盛りイタリアンパセリを添える。

メモ

乾物はビタミンやミネラルが豊富で、いつでも使えて便利です。ひじきは海藻の中でミネラルが豊富に含まれ、免疫力をアップしてくれます。せっかくのミネラルが減少してしまうので、戻すときやゆでるときは短時間にしましょう。切り干し大根は体の奥にたまった油分なども排出してくれます。天日干しのものを用い、戻し汁も良いだしになるので使いましょう。

おひさまサラダ COOKING ♡おいしいもの大好き!♡



【材料：1人前】

- | | |
|-----------------|---------------|
| パン……………各1枚 | |
| 写真左のパン | 写真右のパン |
| グリーンアスパラガス…2本 | リンゴ……………1/2個 |
| ブロッコリー……………3~4房 | バター……………5g |
| スナップエンドウ…2~3本 | 蜂蜜……………小さじ1 |
| しらす干し……………10g | レモン汁……………少々 |
| 溶けるチーズ……………20g | シナモンパウダー…適量 |
| 塩……………少々 | |

お楽しみトースト2種

【エネルギー227kcal(1人分・写真左)、215kcal(同・写真右)】

【作り方】

- 写真左のパン**
- ①グリーンアスパラガスは、根本の堅い部分の皮をむく。ブロッコリーは小房に分ける。スナップエンドウは筋を取り、沸騰した湯に塩少々を加え、それぞれを硬めにゆでる。
 - ②パンにチーズ、しらす干し、①の野菜、さらにチーズと重ね、230度で余熱したオープンまたはオープントースターに入れ、210度で5~6分、チーズが溶けるまで焼く。

- 写真右のパン**
- ①リンゴは薄切りにし、レモン汁を搾る。
 - ②パンにリンゴを乗せ、所々にバターを置き、シナモンパウダーを振り掛ける。230度で余熱したオープンまたはオープントースターに入れ、210度で8~10分、リンゴがしんなりするまで焼き、お好みで蜂蜜を掛ける。

メモ

緑色の温野菜が盛りだくさんのチーズトーストとリンゴの甘味が引き立つアップルトースト。簡単・欲張りトーストです。

編集後記

- ・今月号の「特集」では外郭団体3組織の総代会が、「東西南北」では各地区の生産組織の総会や技術講習会などの様子が紹介され、農閑期ならではの忙しさを感じる内容となりました。
- ・2月に開かれた生産組織などの総代会及び総会では、前年度をねぎらうと同時に新役員が決定され、新年度に向けて士気の高まる1ヵ月間となったのではないのでしょうか。
- ・畑は一面雪景色ですが、ハウスでは早生玉葱の播種作業が始まっています。寒さも緩み日々春の訪れを感じる今日この頃、私の周囲では再び風邪が流行しています。季節の変わり目ですので、みなさんも体調に十分気をつけてお過ごし下さい。(横田 佳敏)

JAきたみらい概要

(平成26年2月15日現在)

- ・組合員数(正) 1,768人
- ・組合員数(准) 5,800人
- ・組合員戸数(正) 1,159戸
- ・貯金 102,366百万円
- ・貸出金 17,605百万円
- ・出資金 5,019百万円